

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科: 地理歴史科 科目: 世界史探究 単位数: 5 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	3A組 箱崎純一 3DE組 箱崎純一
使用教科書:	山川出版社『詳説 世界史』

教科 地理歴史科 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 1 イスラム教の伝播と西アジアの動向	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	イスラム教が中央アジアにもたらした変化について理解している。	イスラム教の諸地域への伝播	中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラム教が進んだのかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	16
	東南アジアにおいてイスラム教が進んだ背景について考察し表現している。	資料集・プリント	イスラム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
	各地域においてイスラム教が進んだ要因を追求する。	適宜	イスラム教の各地への伝播について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	単元 2 ヨーロッパ世界の変容と展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	中世の西ヨーロッパにおいてローマカトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。	西ヨーロッパの封建社会とその展開	中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	18
	西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
	神聖ローマ帝国で中央集権が進まなかった要因を追求する。	適宜	中世の西ヨーロッパについて、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説			○	○	○	1
単元 3 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】					
10世紀前半に東アジアで政権の交替があつた背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。	モンゴルの大帝国	モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	16	
宋とモンゴル帝国の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
宋とモンゴル帝国における社会や経済の発展の様子を追求する。	適宜	モンゴル帝国について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。					
単元 4 大交易・大交流の時代	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】					
世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。	ヨーロッパの海洋進出	ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	18	
ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】					
明代の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を追う。	適宜	ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。					
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説			○	○	○	1	

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科: 地理歴史科 科目: 世界史探究 単位数: 5 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	3A組 箱崎純一 3DE組 箱崎純一
使用教科書:	山川出版社『詳説 世界史』

教科 地理歴史科 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 アジアの諸帝国の繁栄	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。	オスマン帝国とサファヴィー朝	オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	16
オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
オスマン帝国の勢力拡大の経緯を追求する。	適宜	オスマン帝国とサファヴィー朝について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
単元 6 近世ヨーロッパ世界の動向	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。	宗教改革、主権国家体制の成立	新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	18
カトリック改革が持つ世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
主権国家体制の成立の経緯を追求する	適宜	宗教改革について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説			○	○	○	1
単元 7 産業革命と環大西洋革命	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。	産業革命、アメリカ独立革命、仏革命	産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	16
イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を追求する。	適宜	イギリス産業革命について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
単元 8 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動	19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	18
ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを追求する。	適宜	ウィーン体制について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説			○	○	○	1

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科: 地理歴史科 科目: 世界史探究 単位数: 5 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	3A組 箱崎純一 3DE組 箱崎純一
使用教科書:	山川出版社『詳説 世界史』

教科 地理歴史科 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 アジア諸地域の動揺	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。	アジア地域の変容	オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	17
オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
オスマン帝国の列強への経済的な従属の経緯を理解する。	適宜	西アジアの変容について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
単元 10 帝国主義とアジアの民族運動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。	第2次産業革命と帝国主義	第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	18
帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を追求する。	適宜	第2次産業革命と帝国主義について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						